# 不動産利活用

### 基本情報



【年 齢】 58歳 【出身地】 北海道札幌市 【転出元】 北海道札幌市 【前 職】 国土交通省 一級建築士 【活動時期】 R5.4~(2年目)

# 協力隊に応募したきっかけ

小中を帯広で過ごし、前職で帯広勤務の時に、同級生などが積極的に取り組む街の活動に参加しました。その中で帯広市を中心とし十勝が創生の場であり、幕別町を訪れる機会があり、潜在的な魅力ある公園や、時間が停止しているように空洞化している街中をみました。愕然とした一方で、利用可能な既存ストックが多いこと、地域の方々も熱量も高いことから、何か「きっかけ」が生まれれば地域は活動すると確信し、空き倉庫を活用した地域交流拠点(Makura)を創り地域熱量が高まり町の再生のタイミングと感じたため。

### 今後の抱負・任期後の目標

Makuraを拠点に人がつながり、仲間が生まれ育み、理想的に町民の方々が想いを行動しています。空き施設の活動も約2年となりますが、約11件の再生が進み、秋までに3件の再生が予定されています。移住者も増え、地域再生に必要な人と人の繋がりや熱量が様々な展開が育んでいます。

また、大学・高校生など町の再生と教育プログラムの融合も活発化し、地域にあった体温・時間に調和した再生が進んでおり、地方にとって理想的と感じていますので、引き続き安定した基盤構成に取り組んでいきたいと思います。

## 活動内容

#### ● 空き施設利用サポートセンターの運営

施設所有の方が気軽に相談しやすい環境を整えることが大切と考え、役場町外に築56年の築古施設を改修し、空き施設利用サポートセンターを開設(現在は幕練に移転)しました。開設後で約100件を超えるご相談があり、そこから空き施設利用に繋がっているケースもあるなど、今後も有効に機能させ促進を進めたいと考えています。



#### ●空き施設利用促進活動

空き施設の現状や利用など、皆さん色々悩んでいる部分にサポートを継続し、同時に再生に必要な指導や作業を共にし、地元不動産企業も含め企業との連携も進め、また今後は新たなに、現状施設の地域機能の向上性を目的に、企画提案を行い、既存ストックを有効に活用した再生に取り組んでいきます。



#### ● 教育プログラムと連携した地域活性化の取組

地元高校生及び連携協定の大学、さらには視察に訪れる大学や企業などと様々な展開プログラムを生みこの町の未来理想図を描き、姿形を創造しています。本取り組みは次年度以降も継続し、中期的な視点で町の再生、次世代の子供たちの経験・体験を促進し同時に町の再生に引き続き取り組んでいきます。



### 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス)) a.taniho@town.makubetsu.lg.jp (電話番号) 0155-54-6606 (商工観光課) 050-8887-3990 (空き施設利用サポートセンター)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】 m.mackworks ((Instagram)